

- シブサト：1)「看護師の特定行為研修の現状と課題」
岩澤和子(厚生労働省医政局看護課長)
- 2)「認定看護師を対象とした特定行為研修の教育」
溝上祐子(日本看護協会看護研修学校認定看護師教育課程長)
- 3)「特定行為・創傷管理領域における実践報告」
加瀬昌子(総合病院国保旭中央病院看護師長)
- 4)「特定行為研修修了者の求められる役割と課題について」
多田朋子(医療法人熊谷総合病院診療看護師)
- 5)「特定行為研修の看護師を病院施設で活用して」
増渕 美恵子(日本医科大学千葉北総病院副院長・看護部長)

③退院支援加算とクリティカルパス

座長：坂本すが(日本看護協会会長)
野村一俊(朝日野総合病院病院長)

- シブサト：1)「退院支援システムにおけるよりよい情報共有に向けてー看護師の視点からー」
坂本すが(日本看護協会会長)
- 2)「退院支援加算と地域連携クリティカルパス」
武藤正樹(国際医療福祉大学大学院教授)
- 3)「地域連携クリティカルパスと退院支援クリティカルパス」
野村一俊(朝日野総合病院病院長)
- 4)「脳卒中地域連携クリティカルパスの今後ー退院支援、地域包括ケアへの対応ー」
藤本 俊一郎(JA香川厚生連代表理事理事長)
- 5)「がんの地域連携クリティカルパスの今後」
藤也寸志(国立病院機構九州がんセンター院長)

④QIによる医療の質の可視化から改善活動、そしてクオリティーをマネジメントする人材育成へ～課題解決型高度医療人材養成プログラム「PDCA医療クオリティーマネージャー養成事業」成果報告を含めて～

座長：池田俊也(国際医療福祉大学医学部教授)

- シブサト：1)「医療の質の可視化のためのビッグデータの活用」
伏見清秀(東京医科歯科大学医療政策情報学分野教授)
- 2)「日本看護協会による「労働と看護の質向上のためのデータベース(DiNQL)事業」」
川本 利恵子(日本看護協会常任理事)
- 3)「医療の質測定と改善に携わって:現状と課題」
福井次矢(聖路加国際大学学長・聖路加国際病院院長)
- 4)「国立病院機構におけるPDCAサイクルに基づく医療の質改善活動の全国展開とその成果」

本橋隆子(聖マリアンナ医科大学予防医学教室助教・国立病院機構診療情報分析部診療情報分析研究員)

- 5)「医療のクオリティをマネジメントする人材育成」
長谷川 友紀(東邦大学医学部社会医学講座教授)
- 6)「データ分析に基づく病院組織マネジメントを実現する人材育成を目指して」
森脇睦子(東京医科歯科大学医学部附属病院クオリティ・マネジメント・センター副センター長)

⑤「地域を守るあたたかな」医療と福祉の連携を考えるーここまで進んだ、これしか進まない医療と福祉の連携の現状と課題ー

座長：大久保 一郎(筑波大学医学医療系教授)
中村起也(広南会広南病院神経内科医師)

- シブサト：1)「行政の立場から(国の動向)」
黒田秀郎(厚生労働省保険局医療介護連携政策課長)
- 2)「自治体経営の視点(連携土台作り、バランスの取れたマクロ・ミクロ施策)からの「身の丈にあった」医療福祉サービスの提言」
鈴木善樹(市職員・医療福祉連携士)
- 3)「病院の立場から」
佐柳 進(特定医療法人茜会昭和病院病院長)
- 4)「舌がん末期利用者の看取りから考える看護小規模多機能型居宅介護支援事業所の役割」
小野久恵(有限会社あおい代表取締役)
- 5)「医療福祉連携士の立場から」
中村起也(広南会広南病院神経内科医師)
- 6)「「医療福祉連携士制度」について」
大久保 一郎(筑波大学医学医療系教授)

⑥医療におけるワーク・ライフ・バランスを進めるために

座長：大久保 清子(福井県済生会病院)
瀧野敏子(NPO法人イージェイネット代表理事)

- シブサト：重元博道(厚生労働省医政局看護課看護職員確保対策官)
登谷大修(福井県済生会病院院長)
吉村浩美(総合病院聖隷三方原病院総看護部長)
座間 美都子(花王株式会社人財開発部門D&I推進部)
勝又浜子(日本看護協会常任理事)

⑦ポリファーマシーについてマネジメントする

座長：折井孝男(河北総合病院薬剤部長)
堀内龍也(群馬大学名誉教授)

- シブサト：今井博久(東京大学大学院医学系研究科地域医薬システム学講座教授)
金田一 成子(青森保健生活協同組合あおもり協立病院副院長・薬局長)